



# おかやま環境ネットワーク

NO.90  
2018.3

# NEWS

発行:公益財団法人おかやま環境ネットワーク  
〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7  
TEL/FAX 086-256-2565  
E-mail:kankyounet@okayama.coop  
HP:http://www.okayama.coop/kankyounet/

## 『地域と世代をつなぐ 里海交流シンポジウム』 開催報告

～浜をつなぐ子ども達の里海づくり～

- ◆日時: 2018年1月27日(土) 13時～17時
- ◆会場: オルガホール
- ◆参加: 127名
- ◆内容:

現在、自然と人の『共生』の実現をめざし、浜と浜がつながり、アマモ場再生活動を始めとした『里海づくり』は、地域や世代を越えて県下に着実に広がりつつあります。

本シンポジウムでは、里海づくりに取り組む4つの学校が集まり、活動交流を通し学校と地域をつなぐ海洋教育の有るべき姿を考えることを目的に開催しました。

最初に、笹川平和財団海洋政策研究所・海洋研究調査部長(横浜国立大学客員教授)・古川恵太氏による「世界をめぐる海～海について知っておいてほしいこと」の基調講演がありました。



基調講演の様子

次に各学校の生徒からの活動報告として、岡山市立小申小学校「見つめ直そう、わたしたちの小申～ふるさと小申の海を守るために自分たちにできること～」、備前市立日生中学校「海と人に学び、共に生きる日生中学校～先輩から後輩へ、受け継いだ5年間～」、岡山学芸館高等学校「海洋教育から学んだこと～海洋学習～、～藤生喜江子さんと日生～、～海草と漁場～」、岡山県立笠岡工業高等学校「地域と連携したアマモ場再生活動への取り組み」がありました。



学校報告・岡山学芸館高等学校の様子

第2部は「浜をつなぐ子ども達の里海づくり～学校と地域をつなぐ海洋教育を考える～」をテーマに、パネルディスカッションをすすめました。コーディネーターは、九州大学名誉教授(NPO 里海づくり研究会副理事長)・柳哲雄氏、パネリストは、岡山市立小申小学校教諭・矢野智美氏、備前市立日生中学校教諭・藤田孝志氏、岡山学芸館高校教諭・柳雅之氏、岡山県立笠岡工業高等学校教諭・大西豊氏、日生町漁業協同組合専務理事・天倉辰己氏、基調講演演者・古川恵太氏の6名で、参加者との質疑応答を通し交流をすすめました。



パネルディスカッションの様子

# 『第15回おかやまホタルフォーラム』開催報告

- ◆日時：10月28日(土)10時～12時
- ◆会場：(株)岡山村田製作所  
視察：(株)岡山村田製作所内ビオトープ
- ◆参加：58名(16団体等)
- ◆主催：株式会社岡山村田製作所  
生活協同組合おかやまコープ岡山東エリア  
(公財)おかやま環境ネットワーク



会場の様子

## ◆内容：

冒頭、株式会社岡山村田製作所・唐木信太郎所長より主催者挨拶があり、その後、株式会社岡山村田製作所管理部環境課チームリーダー・村田健氏の『株式会社岡山村田製作所の取り組み報告』に続いて、岡山大学環境理工学部・荒川智之氏、遠藤修平氏の『岡山大学ビオトープの取り組み』、倉敷市公園緑地課非常勤嘱託員・岡本勇氏の『由加のホタル(ホタルの生態等について)～幼虫上陸から飛翔調査～』の活動報告があり、最後に質疑応答を通して参加者との交流をすすめました。

会場内では故・梶田博司氏(元川崎医療福祉大学教授・元おかやま環境ネットワーク理事)所有の写真や各種資料、岡山村田製作所、倉敷市児島・岡本勇氏、蔵おこし湧々・小郷英治氏、生活協同組合おかやまコープ岡山東エリアの資料展示がありました。

また、フォーラム終了後、岡山村田製作所内のビオトープを視察し、ビオトープづくりの取り組みの成果を確認しました。

## ◆参加者の感想：

- ・ビオトープでのホタルの生育の難しさ、環境を作る難しさ、工夫が知れて勉強になりました。



視察の様子

- ・ホタルの保護活動の具体例を聴かせて頂き、大変勉強になりました。我々の保護活動・生息地整備に役立つ情報を頂きました。
- ・それぞれの地域・団体で、ホタルが舞う環境づくり、地域づくりをしていることに感動した。参考にしたい。
- ・いろいろな取り組みが聞けて良かったです。ホタルの環境を守るための工夫、みなさまの努力、すばらしいと思いました。このような取り組みがもっともっと広がってほしいなと感じました。
- ・経験に基づく実践な知識を多く聞くことができ、大変参考になった。
- ・自然が少なくなっていく中で、こうしてホタルが生きているような場所が色々な所で守られているのはとても素晴らしいことだと思います。
- ・環境を守ることが人間にとってもホタルにとっても大切なことと感じます。生活している私たちもなるべく環境を壊さないように努力したいと思います。



会場内展示の様子

# 体験プログラム開催報告

## 『アマモ種選別・種まきとエビ食べ比べ』

- ◆日時：10月14日(土)10時～13時
- ◆場所：日生町漁業協同組合、日生「米子湾」
- ◆参加：112名
- ◆講師：  
天倉辰己氏(日生町漁業協同組合専務理事)  
田中丈裕氏(NPO 法人里海づくり研究会議事・事務局長)  
岡山県水産課・日生町漁業協同組合の方々



←アマモの種選別作業の様子



食べ比べのエビ →

- ◆内容：  
アマモの種選別を体験した後、船上からの種まきを体験しました。その後、『お魚の美味しい話』を岡山県水産課の方にしていただき、お昼はあなご弁当と近海でとれたエビの食べ比べを行ない、里海的重要性を確認しました。



船上からアマモの種まきの様子

## 『旭川かいぼり調査 2017』

- ◆日時：11月5日(日)10時～13時30分
- ◆場所：旭川鹿瀬橋下流左岸(岡山市北区建部町吉田)
- ◆参加：480名



←いきもの調査の様子



せき止めの様子 →

- ◆内容：  
竹枝学区ふるさと活性化協議会をはじめ、多くの団体等と共催で開催しました。  
当日は、約300メートルの調査区域を4カ所に区切り、参加者は水の引いた川底の石をひっくり返したりして、いきものをみつけてはバケツに入れて調査しました。  
その後、川のゴミ拾いや石をひっくり返すことで、川を耕しました。  
調査では、魚種は絶滅が懸念されているアカザやカジカなど、計31種類が確認されました。  
最後に、採集したいきものの解説を聴き、豊かな自然環境を確認しました。



会場の様子

## 市民のための環境講座 開催報告

### 『お魚教室

～エコな料理に挑戦～

- 11月1日(水)10～11時30分
- 会場：サンライフ笠岡
- 講師：ままかり普及委員会代表・林宗男氏
- 参加：32名
- 内容：当日はアジを材料に、まるごと無駄なく調理できる「アジのカレーミニエル」と「アジの骨せんべい」の作り方や調理のコツを学び、地場の魚の活用の理解をすすめました。



林宗男氏



調理の仕方を学んでいる様子



教室の様子

### 『教えて…もずく ～もずくを通して里海の環境を考える～』

- 11月20日(月)10～11時30分
- 会場：コープ大野辻
- 講師：(株)井ゲタ竹内開発室 キーパースン・栗木雄三氏
- 参加：25名
- 内容：もずくメーカー(株)井ゲタ竹内による沖縄県恩納村での取り組み報告と、もずくの食比べ、薄塩さばを使用した料理紹介と、試食を行ないました。



会場の様子

#### ●参加者感想

- ・今まで何度も井ゲタさんのお話は聞かせてもらっていますが、今回はゆっくり時間があったからか、今まで聞いたことないこともたくさんあって、井ゲタさんの歴史から、海の最近の状況までいろいろ聞けて良かったです。
- ・まだまだ知らないことがたくさんありました。もずくをとりまく環境、いっぱい勉強させて頂きました。
- ・日頃何気に美味しくいただいていたもずく、収穫から私たちの手元に届くまでの過程を知り、驚きました。こんなに手間がかかっていたことを知り、改めて美味しさや安心安全なもずくだと確信しました。
- ・購入することで、豊かな海づくりに貢献できるので、意識して買うようにしていきたいです

### 『地域の未来を考える

～環境省の取り組み～

- 12月2日(土)10～11時30分
- 会場：オルガ
- 講師：環境省中国四国地方環境事務所 環境対策課長・原田幸也氏
- 参加：21名
- 内容：持続可能な社会の構築に向けた環境省の取り組みとして、1.地域の課題と地域経済循環分析、2.SDGsと同時解決、3.パリ協定と地域再省蓄エネ活用による地域課題の解決、4.森里川海プロジェクト、5.ESD推進ネットワークの5点について、お話いただきました。



原田幸也氏

#### ●参加者感想

- ・「SDGs」について、市民レベルでの理解がすすんでいないように思えます。とても大切な視点だと思いますので、国や地方自治体の取り組みをより強力にすすめていただきたい。
- ・行政機関の取り組みについてのお話を聞く機会がほとんど無い中、貴重な機会をありがとうございました。「SDGs」とか「環境基本計画」などの具体化がどのようにすすむのか、市民として関心をもって、できることはやっていきたいと思いました。
- ・環境行政の軸として、「環境をテコに社会・地域・世界を元気にする」とありました。是非元気になるよう期待しています。

## 市民のための環境講座 開催報告

### 親子企画『海のゆりかご

#### アマモの話をきいてみよう』

- 12月10日(日)10時～12時
- 会場：コープ総社東
- 講師：NPO 法人里海づくり研究会 会議理事 事務局長(おかやま環境ネットワーク理事)・田中丈裕氏
- 参加：31名
- 内容：沿岸域に分布するアマモ場は“海のゆりかご”として重要なだけでなく地球環境にとっても重要な役割を果たしています。そのアマモ場の多面的機能について学習しました。また、県内産のちりめん、のり、たまご、お米などを材料に「おにぎらず」を各自作り、試食を通し、海の幸を味わいました。



田中丈裕氏

- 参加者感想
  - ・アマモについて分かりやすいお話でした。稚魚たちがいっぱいすみついている様子を映像で見ることができ、本当に豊かな海づくりに役立っているのだと気付かされました。
  - ・藻場は、地球環境や自然環境にも大きく影響を与えることを知り、目を覚まされた思いです。今後も地球環境に関わるこういった講座を期待しています。
  - ・藻場の重要性について、楽しく学ぶことができました。再生に向けて重ねられた努力や、それに関わる人の広がりを感じられ、今後ともどんどん多くの人を巻き込みながら、活動が広がっていけば良いなと感じました。

### 『持続可能な地域づくり ～環境・社会・経済の調和を 目指して～』

- 2月10日(土)13時～15時
- 会場：オルガ5階
- 講師：吉備国際大学社会科学部 教授(おかやま環境ネットワーク理事)・井勝久喜氏
- 参加：11名
- 内容：地方創生が声高に叫ばれている中、地方は衰退するばかりで、あまり効果が上がっていません。その原因はどこにあるのか。環境・社会・経済の視点から、持続可能な地域づくりについて、参加者同士で議論しながら考えました。



井勝久喜氏

- 参加者感想
  - ・持続可能な社会について、改めて考え直すよい機会になりました。新しい視点が、たくさんありました。ワークショップでは、いろいろな意見が聞けて楽しかったです。
  - ・問題解決には、課題がたくさんあることがよく分かりました。
  - ・自分自身の考え方が、整理できた点がとても役立ちました。ワークショップ手法によるすすめ方が、素晴らしいと思います。新しい知識を得ることができました。
  - ・持続可能な社会を作るために必要なこと(エコロジー思想や、変革に必要な要素など)が、とても重要という認識を持つことができました。

### 捨てるてはいけない!

#### ～食品ロス問題を考える～』

- 2月13日(火)10時～12時
- 会場：コープ倉敷北
- 講師：岡山市IT技術研究会 理事・稲見圭紅氏
- 参加：36名
- 内容：食品ロスの削減は世界的にも大きな課題となっている中、私たちの行動を見直し、どのように「食品ロス」問題に取り組むべきかなどについて、身近な事例をもとにお話いただきました。



会場の様子

### 『アマモ再生教室④

#### 苗の定植体験』

- 1月31日(水)5時30分～6時30分
- 会場：笠岡市・見崎公会堂
- 講師：神島寺間見崎里浜づくり 代表・森中憲治氏
- 参加者：29名
- 内容：昨年10月に作成し、各家庭に持ち帰りその成長を観察してきた「アマモポット(アマモの苗)」を大潮の早朝干潮時、見崎公会堂前の海岸で、植え付け作業を行いました(小林嘉文笠岡市長にも参加いただきました)。



定植作業の様子

# 足守メガソーラー建設計画は問題山積

～自然エネルギーの普及のためでも乱開発は許されない！～

岡山の自然を守る会・友延 栄一

地球温暖化対策やエネルギー自給率向上などの観点から再生可能エネルギーの普及促進は重要である。平成24年の再生可能エネルギーの固定価格買取制度のスタート以降、太陽光発電、風力発電など再生可能エネルギーの普及が急速に進められてきた。

固定価格買取制度では、普及促進のための優遇により、発電施設の規模が大きいほど、また、早く稼働するほど儲かるしくみになっており、全国各地で、大規模な再生可能エネルギー発電施設の建設が進められるようになった。

しかしながら、本来必要であるはずの住民との合意形成が軽視され、特に太陽光発電所に関しては大規模造成があっても環境影響評価が免除されてきたため、全国各地で住民とのトラブルが起こっている。

そんな中岡山市でも、大規模な山林伐採を伴う大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設計画が明るみになり、地元町内会等が反対している。この建設計画、および岡山県の環境影響評価制度の問題点を報告する。

## ●住民不在で進むメガソーラー

「粟井地区の集落の上部山林が大規模に伐採されソーラー発電パネルで覆われる?!」地元住民の多くは今年7月15日に開催された業者による説明会で初めてこの計画を知る。



計画の概要は以下の通り。

[事業者] リニューアル・ジャパン株式会社 (本店: 東京都)

[開発場所] 岡山市北区足守・大井・粟井 (図1)

[開発面積] 約186ha

[パネル設置面積] 約78ha

[発電規模] 60MW

[パネル枚数] 276,000枚

[工事開始予定] 2018年6～7月

[運転開始希望日] 2019年11月

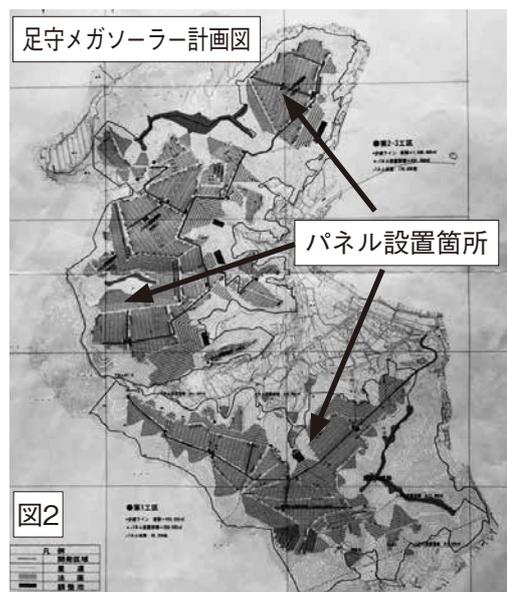
[許認可] 経産省: 設備認定済み。中国電力: 受給契約済み

※7/15説明会資料をもとに作成

この計画地は、30年ほど前に大阪の業者がゴルフ場開発のために買い占められていた場所で、塩漬け後に転売されたため、住民が知らないうちに計画が進んだようだ。

メガソーラー建設の手続き上、事業者は地元同意を取ることが必須ではないため、工事が手直前まで何も知らずに計画を進めることもありうる。

地域の方の話では、業者は、説明会にもかかわらず、当初、計画地を示す資料を住民に配布せず、スライドだけで事業説明をしたそうだ。説明会の途中で配布された地図は不明瞭。このこと一つとっても不誠実な業者だと思われる。山林を大規模に伐採するにもかかわらず、防災対策について納得がいく説明もなかったそうだ。従って、この事業に大井学区の全町内会で反対を表明することとなり、8月17日に、地区としてこのメガソーラーに反対する意思を岡山県と岡山市に伝えた。



## ●足守メガソーラーの問題点

今回の開発により、以下のような問題が懸念されている。

(1) 防災上の問題

最大の問題は、大規模な山林伐採により、計画地からの水路のすぐ下流に位置する栗井・大井・足守地区の集落の生存権が脅かされることである。多くの集落が土石流警戒区域に含まれており、現状でも災害の危険が高い。過去に大雨によりため池が被害を受けたこともある。真砂土で崩れやすい山林は、一度更地になると樹木が育ちにくく、大規模に伐採することで斜面崩壊、土石流の危険、ため池の堤防決壊などの危険が増すのではないかと。

また、沢からの排水路の下流部は狭い水路か暗渠になっており、大雨時に山林伐採後の造成地から一度に水が押し寄せた場合、排水できずに浸水する可能性が高まるのではないかと。

集落のすぐ上で行われる造成工事そのものが災害を起こすのではないかと。

### (2)下流域の災害リスクの増加

大雨時に一度に出水する可能性が高まったり、表土の浸食、土壌流出が続くことによる足守川への土砂堆積の促進により、下流域の水害など災害リスクが増すのではないかと。



図3 計画地は集落のすぐ上

### (3)里山景観の喪失

長年慣れ親しんできた里山景観、ふるさとの風景が失われる。

### (4)生物への影響

里山が開発されることで地域の里山の生物相に影響が出るとともに、足守川への土壌の流出により、ホタルやスイゲンゼニタナゴの生息環境など、「岡山市の身近な生きもの」指定地として保全してきた環境に影響が及ぶのではないかと。

### (5)高温被害・光害

山林を大規模に伐採し、ソーラーパネルを敷き詰めることで、局地的な気温上昇、光害が生じるのではないかと。

### (6)施設廃止後の廃棄物処理

施設利用予定期間の20年が経過した後、廃棄が必要になったソーラーパネルの処理は適切に行われるのか、その後の土地利用はだれが責任を持って行うのか。

### (7)地元のためを考えない開発

東京の業者が収益をあげるだけであり、地元の持続可能性を高めることにならず、災害リスクなど地元へ負担だけ押しつける事業ではないかと。

事業者は、これらの疑問に対して全く答えていない

め、不安は増大するばかりである。もし、これらの疑問が杞憂だというのであれば、事業者は、現地調査を行い環境影響を評価して、誠意を持って説明することが最低限必要である。事業着手1年前に、地域に説明資料を示せないような事業に反対するのは当然だ。

### ●法的規制がゆるいメガソーラー

もしこの開発の目的がゴルフ場だったとすれば、開発面積180haだと岡山県でも環境影響評価条例にもとづく手続きが必要だ。しかしながら、これほど問題点が指摘されながら、太陽光発電は、環境影響評価法の対象事業になっていない。しかも、岡山県は、平成24年に条例改正を行い、すべての太陽光発電施設を環境影響評価の対象から除外している。錦海塩田跡地のメガソーラーでは、事業者等の自主的な環境影響評価が行われたが、そういう事例は県内では少ない。

今回の場合、森林法による林地開発許可制度の対象にはなるが、この制度は森林のもつ機能を代替える処置を講じれば基本、開発を認めるという制度である。

岡山県自然保護条例では10ha以上の開発に際し、事業者と自然保護協定の締結を義務づけられているため、何らかの環境調査結果は提出するだろう。その他、岡山市環境保全条例による環境配慮届の提出等手続きは色々あるが、住民が心配するメガソーラーの問題点を総合的に判断して可否を判断できるものとは言い難い。

### ●岡山県内で進む大規模メガソーラー

先述の通り、岡山県のメガソーラーの規制は緩いため、足守メガソーラー以外にも、大規模なメガソーラーの建設が進んでいる。発電規模が10MW以上の計画は、インターネットの検索(2017/9/10)で拾えるもので11件あった。

これらの中には、地域と合意形成を図りながら進められたものあり、すべてのメガソーラーが問題なわけではないが、新たに建設にかかる事業には山林伐採が含まれるものが増え、足守と同様の懸念が問題になっている事業がある。

足守の事業もニュースになっていないように、水面下で進んでいるものは、かなりあるのではないだろうか。

### ●多くの県ではメガソーラーも環境影響評価の対象

岡山県では、太陽光発電施設は環境影響評価制度の対象外だが、環境省が平成28年にまとめた「太陽光発電事業の環境保全対策に関する自治体の取組事例集」によれば、別表に掲げる32の道府県と9市が、規模要件や施設要件により、メガソーラーを環境影響評価の対象にしている。この調査以降、京都府も対象に加え、山形県も対象にする方向である。また、兵庫県は、平成29年7月1日に「太陽光発電施設等と地域環境との調和に関する条例」を施行し、事業計画の提出や近隣住民への説明を規定してい

る。

長野県などでは実際に環境影響評価の手続きが行われるなど、全国的にはメガソーラーも他の開発行為同様の環境配慮を求める方向である。

また、再生可能エネルギー普及のための制度でも事業適正化の動きがあるなど、メガソーラーの問題は全国的に是正に向けた取組が進められようとしている。

●メガソーラー建設における合意形成のしくみの確立を  
現状のメガソーラー事業は、地元の意向に関係なく、外部の事業者の利益最大化のために進めることが可能だ。国や先進的な自治体ではガイドラインが提示され、問題の改善が行われつつあるが、岡山県では制度が整えられない中、問題のある事業が進んでいる。このままでは再生可能エネルギーの健全な成長はあり得ない。

岡山県は、他県同様、早急に環境影響評価条例を改正し、メガソーラーを対象事業にすべきである。また、現在問題になっている事業に対しては、国等のガイドラインを準用し、地元との合意形成や自主的な環境影響評価を事業者に対して求めるよう指導を行ってほしい。

市民の立場からは、再生可能エネルギーだから大目に見るのではなく、再生可能エネルギーが重要だからこそ、厳しくチェックし、不適切な事業は排除し改善を求め、他の環境問題や社会問題の増大を招かないあり方を選択していくことが重要だと考える。

今回明るみにになった足守メガソーラーの問題は、岡山県内、国内多くの地域でまだまだ起こる可能性がありながら、問題解決のしくみが整っていない。地域での取組とともに、県条例改正や自治体レベルの制度整備に向けた働きかけなどできることから、早急に取り組んでいきたい。

岡山県内のメガソーラー（発電規模10MW以上のもの）

事業所名	所在地	発電規模(MW)	以前の用途	開発面積(ha)	事業者	稼働時期
東野崎太陽光発電所	玉野市東野崎	14	塩田跡地	20	東野崎ソーラーエナジー	2015
美作武蔵メガソーラー	美作市栗野	42	元ゴルフ場	122	パシフィックエナジー	2016
新岡山太陽光発電所	岡山市北区富吉	37	元ゴルフ場	不明	伊藤忠商事他	2016
久米南メガソーラー	久米南町上弓削	32.3	元ゴルフ場計画地	114	パシフィックエナジー	2016
奈義太陽光発電所	奈義町中島西	14.4	町有地	19	BSGPジャパン	2017
(仮)高梁市メガソーラー	高梁市中井町	25.6	元ゴルフ場	48	高梁環境発電合同会社	2017予定
(仮)美咲町塩気メガソーラー	美咲町塩気	33	山林(元ゴルフ場計画地)	不明	エフビットコミュニケーションズ	2018予定
作東メガソーラー発電所	美作市作東町土居	257.7	元ゴルフ場・山林(元リゾート計画)	400	パシフィックエナジー	2019予定
瀬戸内メガソーラープロジェクト	瀬戸内市邑久町	231.4	塩田跡地	260	瀬戸内Kirei未来創り連合体	2019予定
(仮)新見市哲多町メガソーラー	新見市哲多町	36.4	山林	109	日立キャピタル	2019予定
(仮)赤磐市メガソーラー	赤磐市多賀	53.1	山林	128	ソーラーフロンティア等	2021予定
(仮)岡山市足守太陽光発電所	岡山市北区粟井	63	山林(元ゴルフ場計画地)	186	リニューアブルジャパン	2019予定

Pveyeweb, 日経テクノロジーオンライン, スマートジャパン, 山陽新聞などホームページから

第1種事業相当の規模要件	該当する自治体(面積の考え方による区分)			別表
	土地の造成に係る面積	開発区域全体の面積	その他	
75ha	茨城県、鳥取県	秋田県、福島県、宮城県、富山県、愛知県、和歌山県		
50ha	北海道、石川県、静岡県、島根県、愛媛県、熊本県	福井県、大阪府、千葉市	青森県 <sup>※1</sup> 、大阪市 <sup>※1</sup> 、広島県 <sup>※1</sup> 、北九州市 <sup>※3</sup>	
30-40ha	佐賀県、長崎県、大分県、鹿児島県	沖縄県	徳島県 <sup>※1</sup> (事業種別により規模が異なる)	
20-30ha	滋賀県	埼玉県、神奈川県、三重県、香川県	徳島県 <sup>※1</sup> 、岐阜県 <sup>※2</sup> 、相模原市 <sup>※1</sup>	
10-20ha	広島市	山梨県	名古屋市 <sup>※1</sup>	
1-10ha		豊中市	吹田市 <sup>※1</sup>	
その他			京都市(16~75ha) <sup>※2</sup>	



図4 足守中から 前面の山はソーラーパネルで覆われる

## 大野川筍掘り体験

- ◆日時：5月3日(木・祝) 10～12時
- ◆場所：大野公会堂(岡山市北区御津大野)
- ◆定員：30名 ※応募者多数の場合は抽選  
おかやま環境ネットワーク個人会員を優先  
抽選の結果は郵送
- ◆参加費：1人500円(年齢関係無)
- ◆申込：4月20日(金)までに参加申込書を郵送、Fax、Eメールで
- ◆応募資格：小学生以上、未成年者は保護者同伴
- ◆持ち物等：筍を持ち帰る袋、汚れてもよい服装。  
鍬をお持ちの方はご持参ください。
- ◆筍は茹でて持ち帰ります(天候等により収穫できない場合、参加費は無料)。
- ◆少雨決行、警報等発令時は中止

## 大野川ホテル調査会

- ◆日時：6月16日(土) 19時30分～21時
- ◆場所：大野公会堂(岡山市北区御津大野)
- ◆定員：30名 ※応募者多数の場合は抽選  
おかやま環境ネットワーク個人会員を優先  
抽選の結果は郵送
- ◆参加費：無料 ※いのししカレー(500円)を注文  
できます(事前申込、当日支払)。
- ◆申込：6月1日(金)までに参加申込書を郵送、Fax、Eメールで
- ◆応募資格：小学3年生以上、未成年者は保護者同伴。
- ◆カレーのキャンセルはできませんので、ご注意ください。  
※カレーを注文された方は19時に集合し、先に食事をすませてください。
- ◆少雨決行、警報等発令時は中止

..... 切り取り (FAXの場合必ず切り取ってください) .....  
5/3『大野川 筍掘り体験』参加申込書

代表者	刀ガナ氏名	年齢	歳	電話番号		
				携帯番号		
	環境ネットワーク2018年度個人会員ですか(※1)			はい(会費納付済)・いいえ・入会希望		
	住所	〒				
刀ガナ氏名		年齢	歳	刀ガナ氏名	年齢	歳

..... 切り取り (FAXの場合必ず切り取ってください) .....  
6/16『大野川ホテル調査会』参加申込書

代表者	刀ガナ氏名	年齢	歳	電話番号		
				携帯番号		
	「いのししカレー」注文(1個500円)			要( )個・不要		
	環境ネットワーク2018年度個人会員ですか(※1)			はい(会費納付済)・いいえ・入会希望		
	住所	〒				
刀ガナ氏名		年齢	歳	刀ガナ氏名	年齢	歳

※1：環境ネットワーク2018年度個人会員入会希望の方は、申込完了までに年会費を納付ください。

詳しくはHPをご覧ください。事務局へお問合せください。

※保険に加入しますので、参加者全員の年齢を記入してください。

## (株)岡山村田製作所ビオトープ 見学とホタル観賞会

- ◆日時：5月26日(土) 19時30分～21時
- ◆場所：(株)岡山村田製作所(瀬戸内市邑久町福元77)
- ◆定員：無、申し込まれた方は全員参加できます  
※要申込(申込の無い方は参加できません)
- ◆参加費：無料
- ◆申込：5月18日(金)までに参加申込書を郵送、Fax、Eメールで
- ◆応募資格：小学生以上、未成年者は保護者同伴
- ◆少雨決行、警報等発令時は中止



蛍遊の水辺・由加イメージ

## 児島蛍遊の水辺・由加 ホタル観察会

- ◆日時：6月2日(土) 18時～21時
- ◆場所：「蛍遊の水辺・由加」  
倉敷市児島由加347番地
- ◆定員：50名 ※応募者多数の場合は抽選  
おかやま環境ネットワーク個人会員を優先  
参加の可否は郵送(当選者には詳細案内を郵送)
- ◆参加費：無料
- ◆講師：岡本勇氏(ホタル研究家)、生田岩雄氏(蛍遊  
会会長)
- ◆申込：5月18日(金)までに参加申込書を郵送、Fax、Eメールで
- ◆応募資格：小学生以上、未成年者は保護者同伴
- ◆少雨決行、警報等発令時は中止

..... 切り取り (FAXの場合必ず切り取ってください) .....

### 5/26『(株)岡山村田製作所ビオトープ見学とホタル観賞会』参加申込書

代表者	フガナ氏名	年齢	歳	電話番号	
				携帯番号	
	住所	〒			
フガナ氏名		年齢	歳	フガナ氏名	年齢
					歳

..... 切り取り (FAXの場合必ず切り取ってください) .....

### 6/2『児島蛍遊の水辺・由加ホタル観察会』参加申込書

代表者	フガナ氏名	年齢	歳	電話番号	
				携帯番号	
	「いのししカレー」注文 (1個500円)			要 ( ) 個 ・ 不要	
	環境ネットワーク2018年度個人会員ですか(※1)			はい(会費納付済)・いいえ・入会希望	
	住所	〒			
フガナ氏名		年齢	歳	フガナ氏名	年齢
					歳

※1：環境ネットワーク2018年度個人会員入会希望の方は、申込完了までに年会費を納付ください。

詳しくはHPをご覧ください。事務局へお問合せください。

※保険に加入しますので、参加者全員の年齢を記入してください。

## 日生アマモ種取り体験とアマモ場いきもの観察会

- ◆日時：6月9日(土) 10時～12時30分
- ◆場所：日生町漁業協同組合(備前市日生町日生)
- ◆内容：船上からのアマモ種取り、アマモ場(漁礁)にすむいきもの観察会
- ◆定員：50名 ※応募者多数の場合は抽選  
おかやま環境ネットワーク個人会員を優先  
※抽選の結果、及び当選者には詳細案内を郵送
- ◆参加費：無料 ※日生町漁協のあなご弁当(500円)を注文できます(事前申込、当日支払)
- ◆申込：5月25日(金)までに参加申込書を郵送、Fax、Eメールのいずれかで
- ◆応募資格：小学生以上、未成年者は保護者同伴小学3年生以下は、児童1人につき保護者1名がついてください
- ◆少雨決行、警報等発令時は中止

## 『助成活動報告会』

県下で環境活動を行う団体や個人が集い、日頃の活動紹介や、相互のネットワーク形成をとおり、地域での環境活動がより広がる機会になることをめざし開催します。どなたでも参加できます!

- ◆日時：5月12日(土) 13時～15時
- ◆会場：オルガ5階スカーレット  
(岡山市北区奉還町1-7-7)
- ◆定数：50名 ※要申込、参加できない場合のみ連絡します
- ◆参加費：無料
- ◆申込：5月7日(月)までに参加申込書を郵送、Fax、Eメールのいずれかで

..... 切り取り (FAXの場合必ず切り取ってください) .....

### 6/9『日生アマモ種取り体験とアマモ場いきもの観察会』参加申込書

代表者	フリガナ氏名	年齢	歳	電話番号	
				携帯番号	
	あなご弁当注文 (1個500円)			要 ( ) 個 ・ 不要	
	環境ネットワーク2018年度個人会員ですか(※1)			はい(会費納付済)・いいえ・入会希望	
	住所	〒			
フリガナ氏名		年齢	歳	フリガナ氏名	
				年齢	歳

※1：環境ネットワーク2018年度個人会員入会希望の方は、申込完了までに年会費を納付ください。

詳しくはHPをご覧ください。事務局へお問合せください。

※保険に加入しますので、参加者全員の年齢を記入してください。

..... 切り取り (FAXの場合必ず切り取ってください) .....

### 5/12『助成活動報告会』参加申込書

代表者	フリガナ氏名	電話番号	
		携帯番号	
	住所	〒	
フリガナ氏名		フリガナ氏名	

## 2018年度助成団体 決定しました

2月理事会にて、2018年度助成団体が決定しました。

以下、団体名と企画名です。

1. つやま演劇教育研究会「演劇・番組作成を介したクールチョイスの周知・促進」
2. あかいわ美土里の和「里山再生プロジェクト」
3. おかやまエコマインドネットワーク「地域を活かす農業と食の安全」
4. あかいわエコメッセ「第20回あかいわエコメッセ（環境企画展）」
5. NPO 法人里海づくり研究会議備前市日生におけるアマモ植生とカキ養殖生産に対する異常気象の影響に関する検証」

※本誌 P.11 掲載の 2017 年度に助成を受けた団体の「活動報告会」を開催します。

どなたでも参加できます。是非、各団体の活動を聞き、様々な県内の環境保全活動を知ってください。

## 里海づくり推進部会 資料同封について

1月27日開催の「里海交流シンポジウム」の資料を、会員の皆様と同封しています。ご査収ください。

## ホテル団体交流会の ご案内

団体又は個人でホテルの保護、復活、再生を通し、環境保全活動をすすめる取り組みの交流をすすめています。

7月7日(土)10時～オルガ5階会議室にて開催し、取り組み交流等をすすめます。

※どなたでも参加できます。参加される際は、事前にお申込ください。

## 『第16回水環境フォーラム in 岡山』開催報告

特集：『藻場再生の取り組み』

◆日時：12月2日(土)13時30分～17時

◆場所：オルガ5階会議室

◆参加：19名

◆内容概要：

沿岸域に形成される藻場は、養魚の生息の場として、また水質改善の場として重要な機能を有していることが知られています。しかし、過去には水質汚濁や沿岸域の開発によって、多くの藻場が失われてしまう時期がありました。今回のフォーラムでは、貴重な藻場を長年に渡って再生しようとする取り組みを3名の講師からご紹介いただいた後、総合討論として意見交換をすすめました。

●後藤真樹・岡山県農林水産総合センター水産研究所資源増殖室研究員『岡山県におけるアマモ場造成の取組について』

●天倉辰己・日生町漁業協同組合専務理事『アマモ再生活動30年の歩み～地域と世代をつなげて～』

●大久保賢治・岡山大学大学院環境生命学研究科教授『アマモ場再生に係わる物理過程について』



天倉辰己氏



大久保賢治氏

## メールニュース登録者 募集中

おかやま環境ネットワークの情報や、会員団体のイベント情報等を掲載しています。

配信希望の方はメールにて、件名：『メールニュース配信希望』とし、メールアドレス・お名前(必須)、所属団体・会社名(任意)を送信してください。

現在 1,343 名にご登録いただいています。

## 会員募集中

おかやま環境ネットワークは、皆様からの会費、寄附、ボランティア活動で支えられています。

ぜひ会員となり、活動をご支ください。

【年会費】個人・団体：2,000 円  
企業等：20,000 円

学生(高校生、大学生)：無料

※会員の皆様へ

新年度会費振込用紙を同封していますので、お振込みいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【本誌 P. 6～8 寄稿について】

理事会で足守メガソーラーに関するご提案をいただき、今回、岡山の自然を守る会・友延栄一さんにご寄稿いただきました。

【本誌 P. 9～11 案内について】

各事業案内を掲載しておりますが、詳しくは当財団 HP にチラシを掲載しておりますので、ご覧の上お申込ください。

発行：公益財団法人おかやま  
環境ネットワーク

〒700-0026

岡山市北区奉還町1-7-7(オルガ6階)

TEL/FAX:086-256-2565

携帯電話:070-2355-1420

E-mail:kankyounet@okayama.coop